



◀「家がだんだんと形になっていくのを見るのも楽しかった」と振り返るご夫妻。「家を建ててから主人が掃除を手伝うようになったんですよ」と言う美雪さんに対して、「自分の家は違いますね。汚れが気になるようになって…」と義徳さん



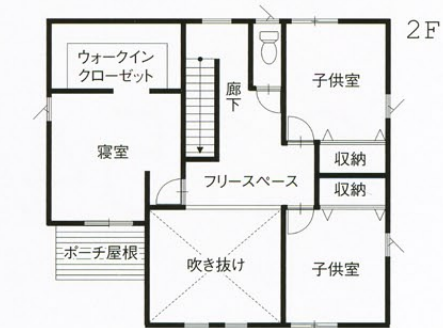
⇒洗濯物が干せるように天井に室内物干しユニットを備えた、4畳半もある広い洗面脱衣室



↑使いやすいように希望したアイランドキッチンとおしゃれなペンダントライトが雰囲気づくりにひと役買っている。広いカウンタートップとオール電化でIH、食器洗い乾燥機など便利設備が完備している。「キッチンに立っていても、家族の顔が見えるので、料理が楽しくなりました」と美雪さん
⇒子ども部屋は2室。今はプレイルームになっている



↑クリーム色とこげ茶のツートンカラーの外観。玄関の正面に屋根の形が見えるデザインにこだわったという
⇒リビングに入ると、天井が高く、明るい空間にまず驚く。和室のパソコンコーナーは義徳さんのお気に入りの場所。子どもたちと触れ合いながら、美雪さんとの会話も弾む
↓2階の階段ホールは広いフリースペース



吹 き抜けの高い窓から注ぐ陽光、無垢のフローリングと小上がりの和室。開放感たっぷりの家の中を子どもたちが走り回るのを眺めながら、「アパートにいたときは、子どもに走らないように注意していました。もうう言わなくても良くなりました」と笑顔の絶えない美雪さん。義徳さんも「子どもの健康のためにももっと早く決心すれば良かったと思っています」。義徳さんは長男であることから、結婚当初はアパートに住み、将来は両親と実家に住む予定だった。それが両親の勧めもあって、両親の所有する空き地に家を建てることに。

住宅ローンは三十五年返済。二人目の子どもが小学校に入るまでは、三年固定の金利タイプで、月々六万円とボーナス時四万円の返済とした。その後は長期の固定金利タイプに変えて、二人の保育料分をローンに振り当てる予定とか。現在住宅ローンの返済額はアパート代の六万五千円と変わらない。「これならもっと早く建てておけば良かった」と義徳さん。アパート代を払っても何も残らないけれど、家は資産となるから。こだわりの吹き抜けのリビングと、リビング階段、和室小上がりの引き出し、洗濯物が干せる広い脱衣場、各部屋の広い収納など、ゆったりとしたレイアウトになっている。工務店選びの決め手は、家の性能の良さだという。真夏の暑いときに完成見学会で訪れた家の玄関に入ったときに涼しかったからだ。それに家中の温度差が小さいこと、二十四時間の強制換気で、湿気がこもらないことなど、健康に過ごせる住宅であることが気に入ったという。

もっと早く建てておけばよかった
ローンの返済額は
アパート代とほとんど変わりません

d a t a

価格 本体価格2,300万円
工法 木造在来工法

床面積 1階——68.73㎡
2階——55.48㎡
延べ床面積——124.21㎡

入居 2008年5月
家族構成 夫婦と子ども2人

2,500万円までの家
file 2
2,300万円
本間 義徳さん・美雪さん
(新潟市)